






国分グループの取組①

取組のタイトル	地球環境
取組の時期	(始期) 令和3年1月～ 継続中
関連するSDGsの ゴール・ターゲット	 <p>あらゆる資源を健全に利用し、再生産可能な地球環境を実現する (貢献する SDGs ターゲット)</p> <p>8.4: 2030年までに、消費と生産における資源効率を漸進的に改善させ、環境負荷を減らすと同時に経済成長を実現する。</p> <p>12.2: 2030年までに、天然資源の持続可能な管理と効率的な利用を達成する。</p> <p>12.4: 製品ライフサイクルを通じて化学物質や廃棄物の排出を大幅に削減し、健康や環境への悪影響を最小化する。</p> <p>14.4: 乱獲や違法な漁獲を規制し、水産資源を持続的生産量のレベルまで回復させる。</p> <p>15.4: 2030年までに、生物多様性を含む山地生態系を保全し、持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす能力を強化する。</p>
取組に指標を設定している場合はその達成状況	
指標: 2030年までにグループ全体のCO2排出量を2017年比30%削減し、2050年にゼロ化を目指す	
指標: 2030年までに排出するプラスチック廃棄物の熱回収方法以外のリサイクル率を40%とする	
指標: 2030年までに展示会等で使用するワンウェイプラスチックをゼロにする	
指標: 2050年までにすべての国分開発商品を環境配慮設計とし、2025年までに当該目標に向けたロードマップを作成する	
取組内容	
<p>2016年以降、主要な大型物流拠点の冷蔵・冷凍設備には、温室効果ガス抑制の観点より、自然冷媒の導入に取り組んでいます。</p> <p>自然冷媒は、フロン類の冷媒より熱効率が高く、省エネルギー化にも貢献しています。</p> <p>また、三温度帯(常温・冷蔵・冷凍)倉庫を1カ所に集約させることにより、入荷・配送時の輸送エネルギー削減を図っています。</p>	



国分グループの取組②

取組のタイトル	食糧生産
取組の時期	(始期) 令和3年1月～ 継続中
関連するSDGsの ゴール・ターゲット	   <p>持続可能な食糧生産を支援し、生産に関わるすべての人が適正な対価を得ることができる世界を創る (貢献する SDGs ターゲット)</p> <p>2.4：2030年までに、持続可能で生産性の高い食糧生産システムの確保とともに、生態系を維持して土壌の漸進的改良を促し、災害等への適応能力向上を図り、強靱な農業を実践する。</p> <p>8.1：一人当たり経済成長率を持続させ、特に後発開発途上国は少なくとも年率7%の成長率を保つ。</p> <p>8.5：2030年までに、差別のない雇用や働きがいのある人間らしい仕事、同一労働同一賃金を達成する。</p> <p>8.7：強制労働、現代奴隷制、人身売買を根絶し、2025年までにあらゆる形態の児童労働を撲滅する。</p> <p>14.4：乱獲や違法な漁獲を規制し、水産資源を持続的生産量のレベルまで回復させる。</p>
取組に指標を設定している場合はその達成状況	
指標：2030年までにサステナブルカテゴリーの売り上げを100億円以上とする	
指標：2030年までに特徴ある地域の食材や原料を生産者の顔が見え、生活者にさまざまな形態で届けることが可能となる仕組みを構築する	
取組内容	
<p>国内の産地を限定し、原料にこだわった『にっぽんの果実』シリーズではEVI※を通して商品1缶につき1円を森の健全化に寄付する活動をおこなっております。また、国分北海道はシマフクロウが生息できる環境保全のため、2018年2月に立ち上げた酒類オリジナルブランド「島梟（シマフクロウ）」の売り上げ金の一部を「特定非営利活動法人 北海道シマフクロウの会」に寄付しています。</p> <p>※EVIとは、2011年3月にスタートした、『森林事業者』と『企業』と『消費者』をカーボン・オフセットでつなぐ環境貢献プラットフォーム「Eco Value Interchange」の略称です。国内クレジットの流通とカーボン・オフセットの取組を活性化させ、日本の森林保全を推進し日本の森と水と空気を守る活動を行っています。</p>	


国分グループの取組③

取組のタイトル	サプライチェーン
取組の時期	(始期) 令和3年1月～ 継続中
関連するSDGsの ゴール・ターゲット	 <p>サプライチェーン全体での脱炭素化と廃棄物の削減に取り組み、持続可能なインフラ機能を構築する (貢献する SDGs ターゲット)</p> <p>7.2 : 2030年までに、再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。</p> <p>7.3 : 2030年までに、エネルギー効率の改善率を倍増させる。</p> <p>9.4 : 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術・生産プロセスの導入拡大により、持続可能性を向上させる。</p> <p>11.6 : 2030年までに、大気汚染や廃棄物排出の管理を徹底し、都市への悪影響を軽減する。</p> <p>12.3 : 2030年までに、食料廃棄を半減させ、生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。</p> <p>12.5 : 2030年までに、3Rの実践により廃棄物の発生を大幅に削減する。</p>
取組に指標を設定している場合はその達成状況	
指標 : 2030年までに今までのスタイルにとらわれることなく、異業種を含め共同配送、共同倉庫を当社が主体となって拡大する	
指標 : 2030年までに、食品廃棄物量を2017年比50%削減する	
取組内容	
<p>缶詰・瓶詰の賞味期限について年月表示への変更や、賞味期限延長など、食品ロス削減に取り組んでいます。</p> <p>K&K コンビーフは使いやすいアルミック缶®へリニューアルすると同時に、3年から3年6か月へ賞味期限を延長しております。</p>	


国分グループの取組④

取組のタイトル	マーケティング
取組の時期	(始期) 令和3年1月～ 継続中
関連するSDGsの ゴール・ターゲット	  <p>バリューチェーンの効率化を図り、鮮度が高く有益化した情報で新たな価値を創造し、生産者から消費者まですべての人々の豊かな生活を実現する (貢献する SDGs ターゲット)</p> <p>8.3: 雇用創出、起業、イノベーションを支援するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。</p> <p>8.9: 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促に繋がる持続可能な観光業を促進する。</p> <p>12.3: 2030年までに、食料廃棄を半減させ、生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。</p> <p>12.8: 2030年までに、すべての人が持続可能な開発や自然と調和したライフスタイルの意識を持つようになる。</p>
取組に指標を設定している場合はその達成状況	
指標: 2025年までに社内情報を高度化し社員が効率よく活用できる仕組みを作る	
指標: 2030年までに地域密着卸として生活者向けの食の体験学習を実施する	
指標: 2030年までに地域行政とのつながりを持ち、フレッシュカテゴリーの売り上げ倍増を目指す	
取組内容	
<p>私たちは食品卸売業として、生活者へ食にまつわる情報を正しく伝え、理解を深めていただくことが責務であると考えています。2021年12月、大阪市西淀川区にて、株式会社セブン・イレブン・ジャパンと共同で、公益財団法人日本財団の助成による「こどもスマイリング・プロジェクト」を実施しました。今回が2回目となる「こどもフードエシカルマスター講座」は、子ども食堂に通う子どもたちを対象とした、エシカル消費を通じた職業体験プログラムであり、体験学習を通して、食品流通のしくみや食品ロス、エシカル消費について学ぶものです。コンビニの店員さんになりきり、商品陳列の体験をしたり、食品流通や栄養バランスに関するワークシートに挑戦したりと、食に関するさまざまなプログラムを体験してもらいました。終了後、子どもたちが体験学習の感想だけでなく、次に起こすべきアクションを宣言する様子が印象的でした。</p>	

国分グループの取組⑤

取組のタイトル	生活者
取組の時期	(始期) 令和3年1月～ 継続中
関連するSDGsの ゴール・ターゲット	 <p>あらゆる変化に対応し、すべての生活者が健康的で豊かな食を得られるサプライチェーンを構築する (貢献する SDGs ターゲット)</p> <p>1.5 : 2030年までに、貧困層や脆弱層の強靱性を構築し、気候関連災害や経済、社会、環境的ショックへの被害を軽減する。</p> <p>2.1 : 2030年までに、飢餓を撲滅し、貧困層や脆弱層を含むすべての人が安全で栄養のある食糧を十分得られるようにする。</p> <p>2.2 : 2025年までに、5歳未満児の発育阻害・衰弱に関する国際目標を達成する、2030年までに、栄養不良を解消し、若年女子、妊産婦、高齢者の栄養ニーズに対処する。</p> <p>3.4 : 2030年までに、予防や治療を通じて非感染性疾患による若年死亡率を1/3減少させ、精神保健や福祉を促進する。</p> <p>9.1 : すべての人が安価にアクセスできる持続可能で強靱な地域・越境インフラ開発により、経済発展と福祉を支援する。</p> <p>13.1 : 気候関連災害や自然災害に対する強靱性と適応能力を強化する。</p>
取組に指標を設定している場合はその達成状況	
指標 : 2025年までに TCFD に準拠した経営予測を作成する	
指標 : 2030年までに「買い物難民」「買い物弱者」「買い物困難者」に対し、物流シェアリング等を活用し食を中心としたサービスを届ける仕組みを作る	
取組内容	
<p>「買い物難民」は、山間部や離島に住む方だけでなく、都会にも高齢や身体に不調があるなどといったさまざまな理由で存在します。</p> <p>国分グループはそういった皆さまにも豊かな食を届けるため、「問屋国分ネット卸」 (https://netton.kokubu.jp/) を展開しています。アイテム数が豊富かつ小ロットでも日本各地への配送が可能で、離島や介護施設向けに食品を届けています。介護施設では介護用品といった必需品以外に、おやつなどの需要が高くなっています。豊かな食は生活の質を向上させるものであるという認識のもと、今後もお客さまのニーズに応えていきます。</p>	

国分グループの取組⑥

取組のタイトル	人財
取組の時期	(始期) 令和3年1月～ 継続中
関連するSDGsのゴール・ターゲット	 <p>ダイバーシティを実現し、すべての人が“ワクワク”しながら能力を発揮でき、個人のやりがい企業が成長につながる会社にする (貢献するSDGs ターゲット)</p> <p>4.4: 2030年までに、働きがいのある人間らしい仕事や起業に必要な技術的・職業的スキルを備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。</p> <p>4.7: 2030年までに、すべての学習者が持続可能な開発のための知識や技能を習得できるようにする。</p> <p>5.1: すべての女性や女兒に対する、あらゆる形態の差別を撤廃する。</p> <p>5.4: 公共サービス、インフラ、社会保障の提供、家族内での責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。</p> <p>5.5: 政治、経済、公共分野での意思決定において、女性参画や平等なリーダーシップの機会を確保する。</p> <p>8.1: 一人当たり経済成長率を持続させ、特に後発開発途上国は少なくとも年率7%の成長率を保つ。</p> <p>8.5: 2030年までに、差別のない雇用や働きがいのある人間らしい仕事、同一労働同一賃金を達成する。</p> <p>10.2: 2030年までに、いかなる差別もなく、すべての人のエンパワーメントを促進する。</p>
取組に指標を設定している場合はその達成状況	
指標: 2030年までに30歳代の上級職を上級職年齢構成の10%以上にする	
指標: 2030年までにチャレンジへの支援や評価、リーダー育成方法を構築する	
指標: 2030年までに上級職に占める女性の割合を15%以上にする	
指標: 2030年までに男性が2週間以上連続で育児に関わる休暇の取得割合を対象者の5%以上とする	
指標: 2030年までにダイバーシティやジェンダーに関する教育制度を充実させ、あらゆる勤務場所や業務で働き甲斐が感じられる環境を整える	
取組内容	
<p>次世代を担う人材を計画的に育成するため、国分ビジネスリーダー育成カレッジを2018年度よりスタートしました。若手・中堅社員に成長の機会を与え、組織の活性化を図るため、自ら手を挙げる公募型の研修としています。半年間かけてビジネスの基礎を学んだ後、国分グループの具体的な経営課題に取り組み、練り込んだ課題解決プランを重要意思決定機関である経営会議にて発表するという実践的なプログラムです。承認された解決プランは担当部門が引き継いで、実際のアクションへ落とし込まれます。現在は第4期生15名が切磋琢磨しながら、イノベーションを起こす活動をしています。</p>	